

事前評価チェックシート

計画の名称： 高松市の大島港における安心・安全な港づくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等（大島振興方策事業）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標と地域活動及び拠点施設との関係 1) 地域特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 1) 拠点施設で地域活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年01月11日

計画の名称	高松市の大島港における安心・安全な港づくり（防災・安全）													
計画の期間	平成31年度～平成35年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	高松市													
計画の目標	経年変化により老朽化の進んだ施設の再整備により、島民の暮らしを守るとともに、安全・安心に利用できる港湾施設の整備を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		963	A	963	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C+D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (H33末)	最終目標値 (H35末)
1	強風時でも安全な離接岸、乗客の安全で快適な利用、車両の運搬を考慮したフェリーの就航など離島港湾における施設を整備する。 港湾施設の整備を実施した割合 実施事業費：総事業費×100＝整備率（%）	0%	37%	63%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業 (大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況							
												H31	H32	H33	H34	H35										
一体的に実施することにより期待される効果																										
備考																										
港湾事業	A02-001	港湾	離島	高松市	直接	高松市	地方	改良	防波堤整備事業	防波堤改良 L=315m	大島地区	■	■	■	■	■	817	1.13	—							
	A02-002	港湾	離島	高松市	直接	高松市	地方	改良	物揚場整備事業	物揚場 L=10m	大島地区	■	■	■	■	■	143	1.13	—							
	A02-003	港湾	離島	高松市	直接	高松市	地方	改良	泊地浚渫事業	浚渫 V=300m3	大島地区	■	■	■	■	■	3	1.13	—							
											小計								963							
											合計													963		